

2018年6月18日大阪府北部地震発生の前後に得られた 阿武山観測所の地殻変動連続観測記録

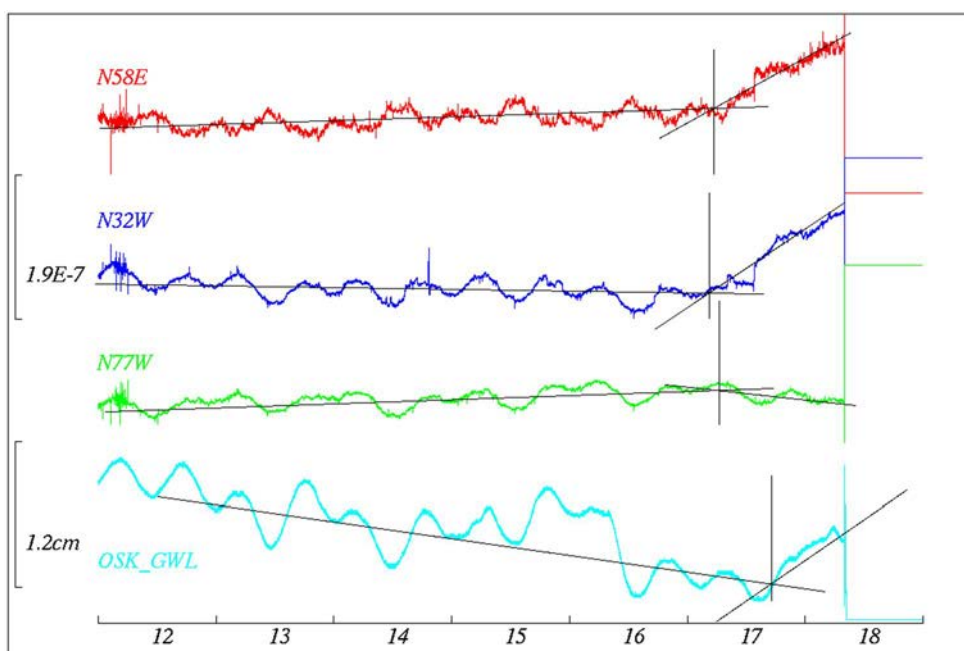


図1 6月12日～18日の阿武山歪計記録と逢坂山水位記録。17日4時頃から歪レート急激な変化が見られ、やや遅れて水位にも変化が現れた。N58EとN32Wの歪変化率は数日で年周変化量に達する値である。変曲点の決定には「大谷式変曲点確定法」を使用しているため、値には客観性がある。このようなレートの変化をもたらす歪の主軸は、方位角10度で $2.4E-12$ /秒と方位角100度で $-2.7E-13$ /秒である。

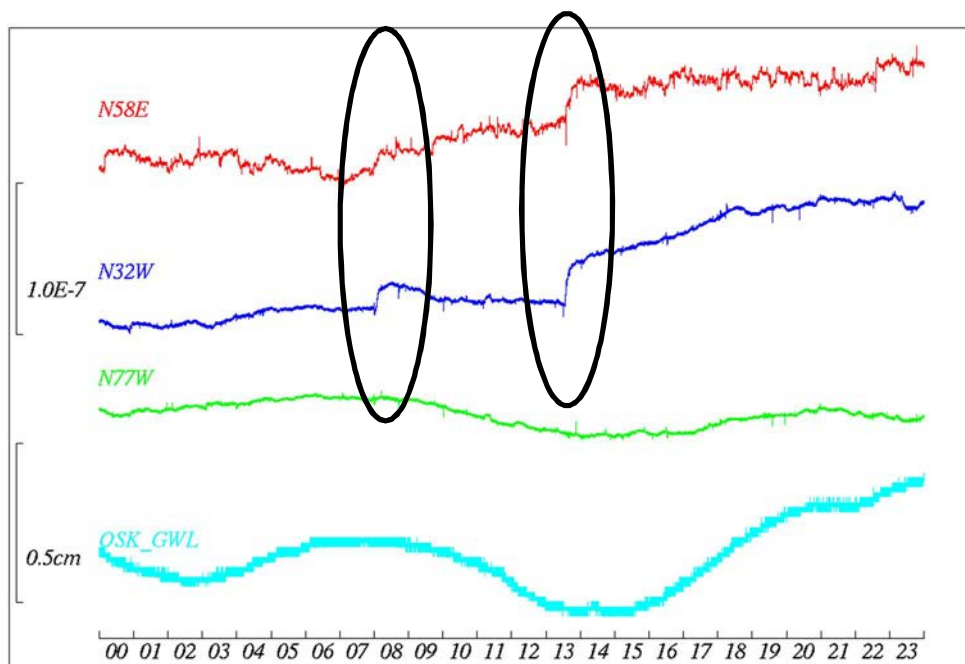


図2 図1の17日分の拡大図。楕円で囲んだ部分が図1ではステップ状の変化に見えるが、ある程度の時間をかけた変化である。図3、4にステップ状変化部分の拡大図を示す。